

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 相生市

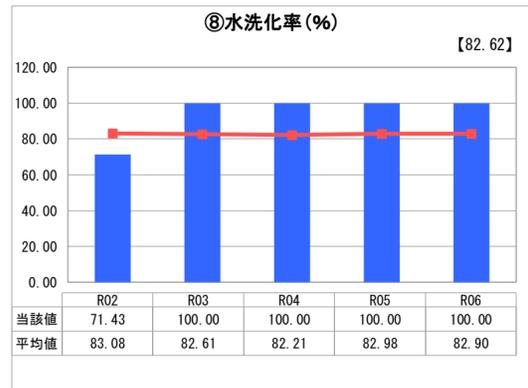
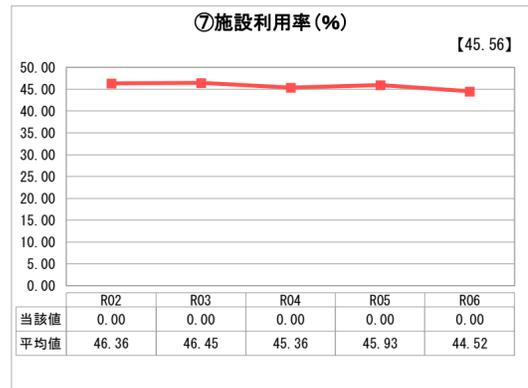
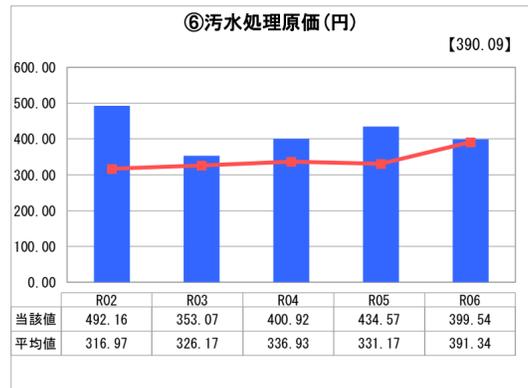
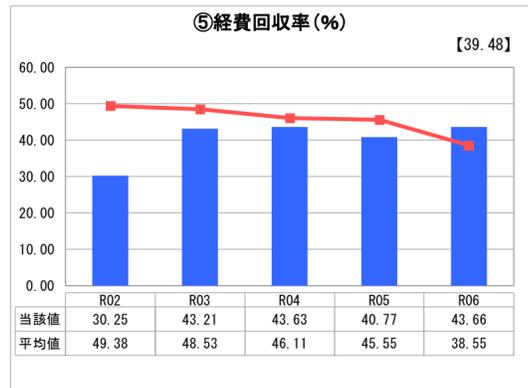
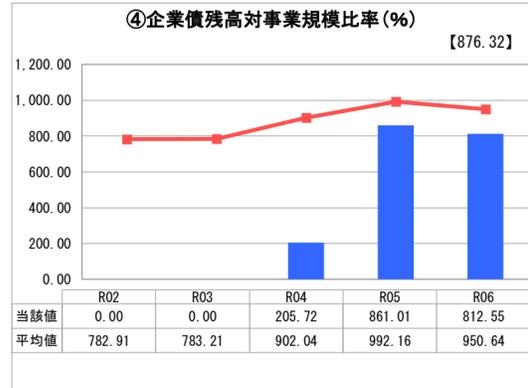
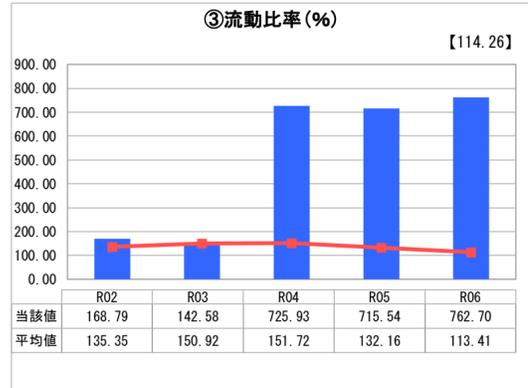
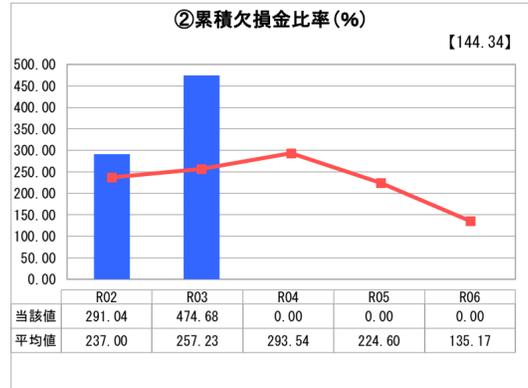
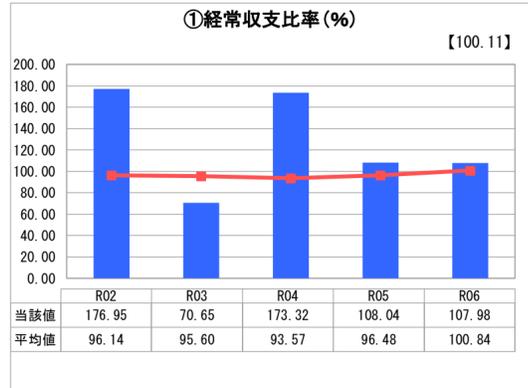
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	74.95	0.13	100.00	3,270

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,058	90.40	299.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
35	0.01	3,500.00

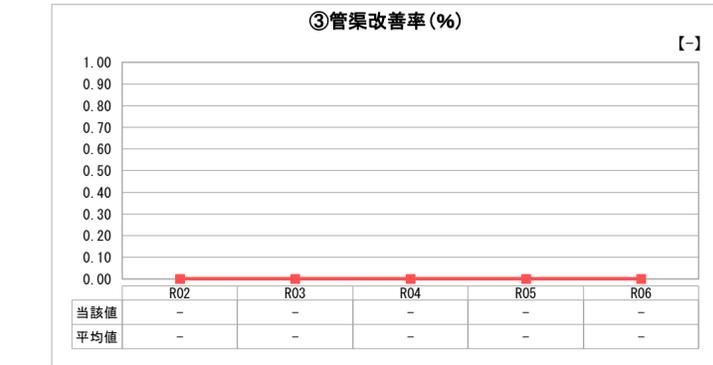
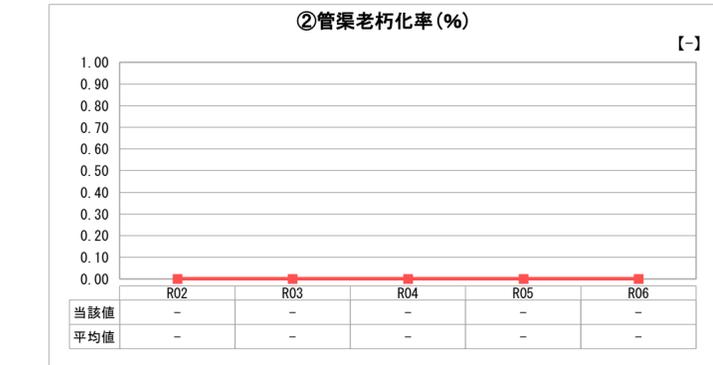
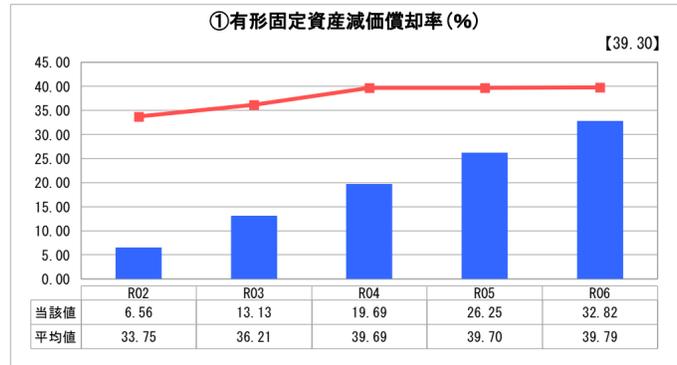
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

【経常損益】  
経常収支比率は、100%を上回っているため経営は、安定している。

【使用料水準の適切性】  
経費回収率は、類似団体平均を上回っているが、100%を大きく下回っているため、定期的に適正な使用料水準を検証していく必要がある。

【費用の効率性】  
汚水処理原価は、事業の特性上高くなっているが、類似団体平均値を上回っているため、経費の適正化を定期的に検証していく必要がある。

【施設の効率性】  
水洗化率は100%となっている。

### 2. 老朽化の状況について

【施設全体の減価償却の状況】  
平成16年に供用開始された事業であり、比較的老朽化は進行していない。  
現時点では適切な維持管理を行うことで施設の延命化に努めながら、施設更新に向けて検討し、計画的な更新を実施していく。

### 全体総括

当該事業は個別箇所での下水道を処理するため、他の事業に比べ、汚水処理原価が高くなる傾向があるが、類似団体平均値を上回っているため、経費の妥当性について、検証が必要である。  
今後は、財政状況の健全化、また経営状況の安定化を図りながら、「経営戦略」に沿った計画的で合理的な事業運営を行い、経営改善に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。